2027年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社QDレーザ
2026年11月

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期　決算説明に際して

株式会社QDレーザの2027年3月期 第2四半期 (2026年4月～2026年9月) の決算説明資料をお届けします。

当第2四半期は上場来初めてとなる四半期営業黒字を達成しました。当四半期末までの累計実績は、売上高9.1億円、営業損失△0.3億円となり、また、当四半期における特別利益の計上により中間純利益は 4.2億円となりました。ここまで事業計画を上回る進捗を続けており、さらに当四半期末の受注残高は7.2億円に達しています。引続き通期での全社黒字化に向けて利益を積み上げて参ります。

また8ページと9ページに記載の通り、中期経営ビジョンを策定しました。このビジョンに基づいて引続き企業価値の向上に努めて参ります。

当四半期のレーザデバイス事業は、引続き製品受注が好調であるほか、9月より量子ドット製品の生産を順調に再開しています。レーザ・オプティカルソリューション事業は、TDKへの関連知財の譲渡を完了し当四半期に特別利益を計上しました。昨今のデーターセンターの規制強化の動きについて、市場では設備投資抑制の可能性が注視されていますが、現時点の受注環境に大きな変化は見られません。当社の量子ドット技術はデータセンターの電力問題への新たな解決策となり得ることから、今後も半導体企業等の顧客に対する技術提案を進めて参ります。

当社は本年10月の東証株価指数（TOPIX）構成銘柄の定期入替において新規追加銘柄に選定されました。TOPIXは日本の株式市場を広く網羅する代表的な経済指標であり、株主および市場関係者の皆様の高い期待に応えるべく、社業の成長と発展に邁進したいと思っております。
今後ともQDレーザへのご支援をお願い申し上げます。

株式会社QDレーザ
代表取締役社長　大久保　潔

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

01 2027年3月期第2四半期 業績ハイライト

02 事業の説明

03 ESGの取組

04 会社概要

05 用語集

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

QDレーザ｜2027年3月期 第2四半期 決算

前年同期比で増収増益、安定した経営基盤の構築による成長を継続、純利益は黒字

	売上高	営業利益	中間純利益	EBITDA[*1]
全社	**9.1億円**	**△0.3億円**	**4.2億円**	**7百万円**
前年同期比	+2.8億円 (+45%)	+1.3億円 (+79%)	+5.8億円	+1.3億円

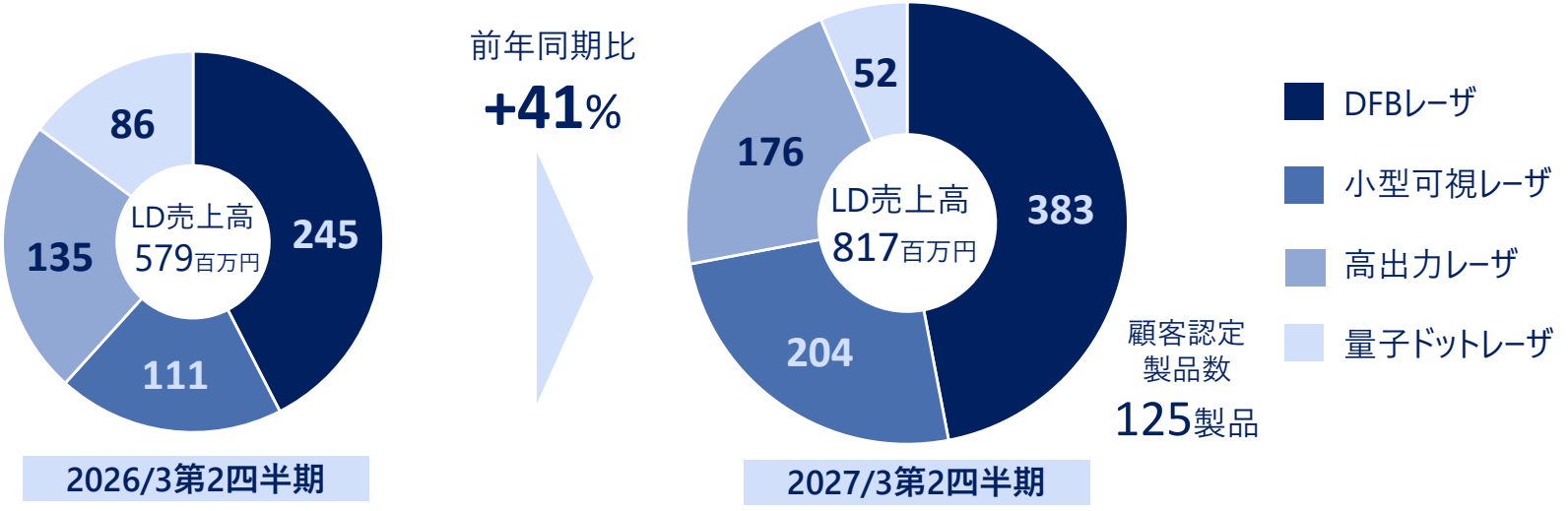
レーザデバイス事業部 (前年同期比)	**8.1億円** (+2.3億円 (+41%))	**2.1億円** (+1.1億円 (+115%))
	• DFBレーザをはじめ産業用途の受注好調、量子ドットは9月から生産再開	
レーザ・オプティカルソリューション事業部 (前年同期比)	**1.0億円** (+0.5億円 (+89%))	**△0.8億円** (+0.2億円 (+20%))
	• 受託開発が順調に進捗、TDK向け知財譲渡を7月完了し特別利益計上	

*1：EBITDAは、営業活動によるキャッシュ創出力を示す参考指標として使用しており、営業利益に減価償却費等を加算して算出しています。

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

レーザデバイス(LD)事業部｜安定した経営基盤の構築

DFBレーザをはじめとして産業用途で順調に売上を拡大



第2四半期の実績

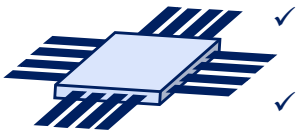
- レーザデバイス全体の売上は前年同期比+41％の成長
- DFBレーザ、小型可視レーザ、高出力レーザの産業用途の受注が引続き好調
- 量子ドットは設備立上げを完了して9月から生産を再開し、順調に稼働中

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

レーザデバイス(LD)事業部｜飛躍の追求

大手半導体メーカーなどへの量子ドット製品の量産採用に向けた取組み

半導体光配線(CPO)の本格化、量子ドット製品の状況



■ **市場環境**

✓大手半導体企業が主導する半導体光配線(CPO) の実用化・規格化が急速に進展

✓量子井戸レーザによる製品開発が先行

■ **量子ドットへの関心の高さ**

✓顧客から量子ドット製品を継続して受注(R&D用途)

当社の対応（開発促進・体制強化）

データセンター向けの研究開発を進める顧客
グローバル大手半導体企業など
6社

■ **顧客ニーズへの対応**

✓ 顧客の要望スペック製品の提供

■ **量子ドットの研究開発**

✓ 高出力化、多波長化のR&D推進

■ **設備の増強**

✓ MBE増設 (2026年度納入、2027年度稼働)

第2四半期の取組み

- 量子ドット製品の受注(R&D用途)は順調で、引続き量産採用に向けて顧客ニーズに対応
- 量子ドットレーザチップの製品開発、ITRIとの共同研究など様々な研究開発を推進

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

レーザ・オプティカルソリューション(LS)事業部：活動概要

網膜投影技術で培ったレーザと光学技術によるB2B事業を展開

スマートグラス
（XRグラス向け網膜投影光学エンジン）

- TDKとの契約締結により協業が本格化、最新デモ機などの開発が順調に進捗中 ※1



網膜投影型スマートグラスのデモ機の展示
(CEATECのTDKブース)

光学モジュール・ユニット
（産業機器向け光学ユニットの提供）

- 3Dスキャニング等の製品をB2B型で顧客に提案



3Dスキャニングユニット

ビジョンサポート
（網膜投影製品の開発・提供）

- スマートフォン装着型網膜投影機器RETISSA® VIEWCLEARの出荷を開始
- 網膜投影技術の医療応用を継続検討



RETISSA®VIEWCLEAR™（スマホアタッチメント型）

※1： 2026年6月に**TDK社と事業協力契約を締結**

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

中期経営ビジョン（2027年度～2029年度）

安定した経営基盤の強化 および 成長の実現に向けた取組み

事業のスケールアップ

LD ベースライン事業

認定製品の拡大・生産体制強化・新製品開発

LS事業

B2B事業による安定収益の構築・拡大

成長軌道の確立

LD 量子ドット事業

量産体制の確立・MBE増設・大口径化研究

LS スマートグラス事業

TDKとの事業協力を通じた成長の取込み

M&A等による上記以外への事業拡大 ： 光半導体領域を中心に戦略性が高い優良なM&Aの機会があれば検討

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

中期経営ビジョン（2027年度～2029年度）

量子ドット事業の成長に向けた経営方針

生産能力の拡大

01

結晶成長等の生産設備
および人的資源の確保

長期性資金の確保

02

設備投資原資として
長期性資金を確保

成長と安定の両立

03

リスクテイクを支える
事業基盤の維持強化

市場拡大を見据えた量子ドット事業への成長投資を通じて企業価値の拡大に取組む

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

01

2027年3月期第2四半期
業績ハイライト

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

2027年3月期第2四半期　業績ハイライト｜売上高

全社売上高は前年同期比45％増の916百万円、LD・LS両事業で増収

LD事業はDFBレーザ、小型可視レーザ、高出力レーザが好調。量子ドットレーザは設備移転に伴い減収となったものの、9月から生産を再開。LS事業は受託開発の増加により増収。

LD売上高



LS売上高



全社売上高



Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

2027年3月期第2四半期　業績ハイライト｜損益

全社営業損失は前年同期比134百万円改善、LD事業は大幅増益

LD事業は増収により営業利益が拡大。
LS事業も増収により損失が縮小し、
全社の営業損益が改善。

LD営業利益



全社営業損失



経常損失は前年同期比128百万円改善、特別利益の計上により中間純利益は黒字

営業損益の改善に加え、一部特許
譲渡による特別利益の計上により、
中間純利益は425百万円。

経常損失



中間純利益



Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

2027年3月期第2四半期　業績ハイライト

前年同期比で増収、営業・経常損失が改善し、中間純利益は黒字

LD・LS両事業の増収により営業損益が改善。特別利益の計上により中間純利益は425百万円となり、EBITDAも黒字化。

全社業績サマリー

(単位：百万円)	2027/3 1-2Q実績	2026/3 1-2Q実績	前年同期比	2027/3期 予想[*1]	対予想 進捗率
売上高	**916**	631	＋45% (＋285)	1,850	50%
(内、LD)	**817**	579	+41%	1,410	58%
(内、LS)	**99**	52	+89%	439	23%
営業利益 又は損失(△)	**△34**	△169	+134	3	-
(内、LD)	**210**	97	+112	298	-
(内、LS)	**△80**	△100	+20	3	-
経常利益 又は損失(△)	**△34**	△162	+128	3	-
中間純利益 又は損失(△)	**425**	△163	+589	441	-
EBITDA	**7**	△122	+130	110	-

*1：2026年6月1日公表値

製品群別売上サマリー

(単位：百万円)	2027/3 1-2Q実績	2026/3 1-2Q実績	前年同期比
DFBレーザ	**383**	245	+56%
小型可視レーザ	**204**	111	+83%
高出力レーザ	**176**	135	+30%
量子ドットレーザ	**52**	86	△39%
LD事業計	**817**	**579**	**+41%**
NRE	**80**	52	+55%
光学モジュール・ユニット	**16**	-	-
ビジョンサポート	**2**	-	-
LS事業計	**99**	**52**	**+89%**
合　　計	**916**	**631**	**+45%**

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

2027年3月期第2四半期　貸借対照表

預金の増加やクリーンルームの取得等により総資産が増加。負債は長期借入金の増加等により増加し、自己資本比率は85.0%[*1]（前期末87.9%）

貸借対照表

（百万円）	2026/9月末	2026/3月末	前期末比
流動資産	4,251	3,698	+553
固定資産	2,223	1,867	+356
資産合計	**6,475**	**5,565**	**+909**
流動負債	292	348	△55
固定負債	664	317	+347
負債合計	**957**	**665**	**+291**
純資産合計	**5,518**	**4,900**	**+618**
負債純資産合計	**6,475**	**5,565**	**+909**

*1：株式引受権14百万円を純資産から控除して算出

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

2027年3月期第2四半期　キャッシュフロー

現金及び現金同等物は前年同期末比、336百万円の減少

キャッシュフロー

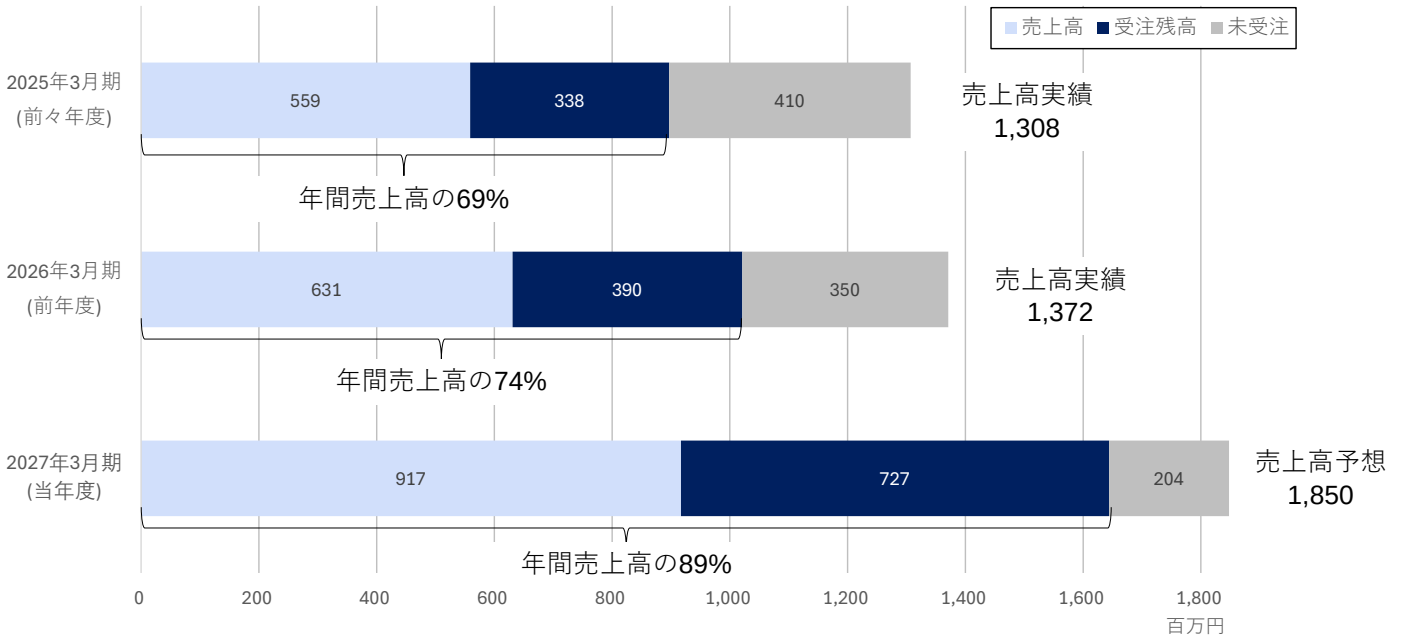
（百万円）	2027/3期 第2四半期累計	2026/3期 第2四半期累計	前年同期比
営業活動によるCF	△145	△166	+21
投資活動によるCF	83	△20	+103
財務活動によるCF	550	△0	+550
現金及び現金同等物換算差額	1	△0	+1
現金及び現金同等物期末残高	3,230	3,566	△336
（参考）EBITDA	7	△122	+130

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

2027年3月期第2四半期　受注状況

第2四半期末時点で売上高＋受注残高は年間予想売上高の89%
過去と比較して高水準の進捗

第2四半期末時点での年間売上高に対する売上高＋当年度売上予定受注残高



Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

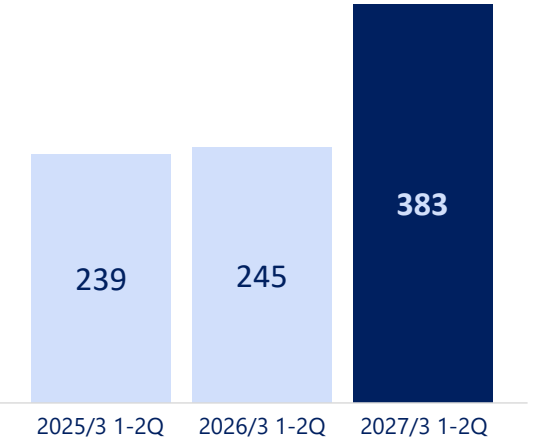
DFBレーザ[*1]：売上高

2027年3月期第2四半期 売上高
383百万円｜前年同期比 ＋56%

精密加工用および計測（半導体製造）用光源の受注好調。

	売上	構成比率	
精密加工	182百万円	47%	北米の微細加工用光源が好調で前年同期比 105 百万円の売上増加
計測 (センサーシステム)	65百万円	17%	米国のセンサ用光源の受注低調で前年同期比 19 百万円の売上減少
医療	27百万円	7%	日本の医療関連機器用光源が堅調に推移。
計測 (半導体製造用)	76百万円	20%	欧州の半導体検査用光源および日本の半導体ウエハプロセス関連の検査装置用光源の受注好調により前年同期比45百万円の売上増加

DFBレーザ売上高 （百万円）



*1：用途により便宜的に区分しており、一部FPレーザ等も含む

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

小型可視レーザ：売上高

2027年3月期第2四半期 売上高
204百万円｜前年同期比 ＋83%

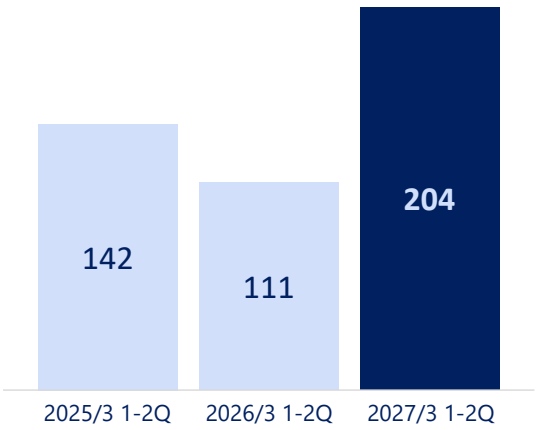
フローサイトメータ用光源の需要が増加。

	売上	構成比率
血液・細胞分析（フローサイドメータ、セルソータ）*1	147百万円	72%
顕微鏡	44百万円	22%

中国（本社米国）顧客の受注好調で前年同期比 66 百万円の売上増加。

日本顧客からの受注好調だが、欧州顧客からの受注は低調。

小型可視レーザ売上高 （百万円）



*1：フローサイトメーターの一種で、特定の細胞を分取する実験装置

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

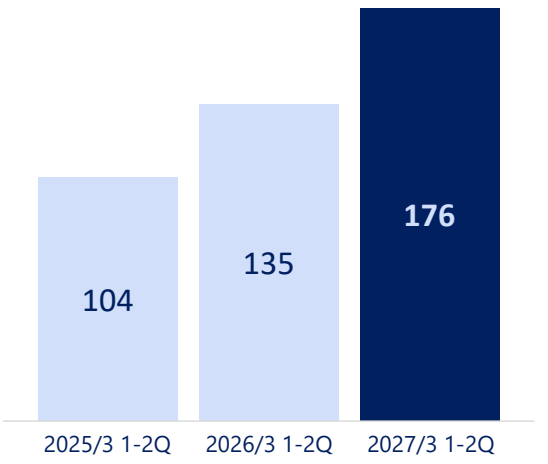
高出力レーザ：売上高

2027年3月期第2四半期 売上高
176百万円｜前年同期比 ＋30%

照明用およびマシンビジョン用光源の受注好調。

	売上	構成比率	
建設・DIY用 水準器・センサ	41百万円	26%	中国の照明用光源の売上が好調。
半導体工場用 センサ	22百万円	11%	日本のウエハ搬送機用センサ光源の受注低調で前年同期比9 百万円の売上減少。
マシンビジョン・ 工場内通信	60百万円	33%	北米マシンビジョン用光源の受注好調で前年同期比 26 百万円の売上増加。日本の工場用光源は堅調。

高出力レーザ売上高 （百万円）



Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

量子ドットレーザ[*1]：売上高

2027年3月期第2四半期 売上高
52百万円｜前年同期比 △39%

MBE装置立ち上げ完了し9月よりエピウエハ生産再開。

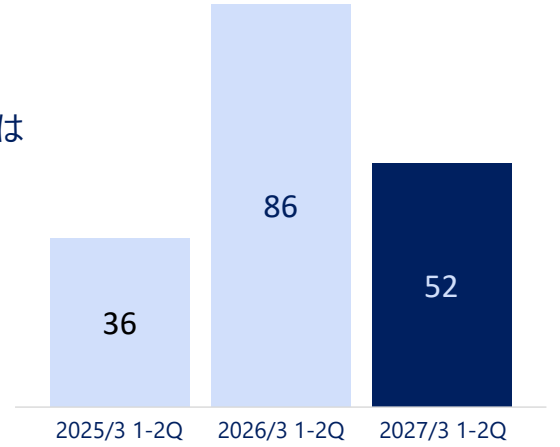
研究開発用
量子ドット製品

日米欧の9社とシリコンフォトニクス用光源等の共同開発を推進中
（光コネクタ・チップ間通信、LiDAR、民生用途等）。
設備移転により生産を停止していたが、9月より生産再開。

当社顧客における研究開発・試作用途の量子ドットレーザ需要は、上下変動はありつつも、概ねこれまでの趨勢通り推移する見込み。

量子ドットレーザを組み込んだ最終製品については、当社顧客において量産化を目指した研究開発がさまざまに進捗。

量子ドットレーザ売上高 （百万円）



*1：用途により便宜的に区分しており、一部量子井戸レーザ等も含む

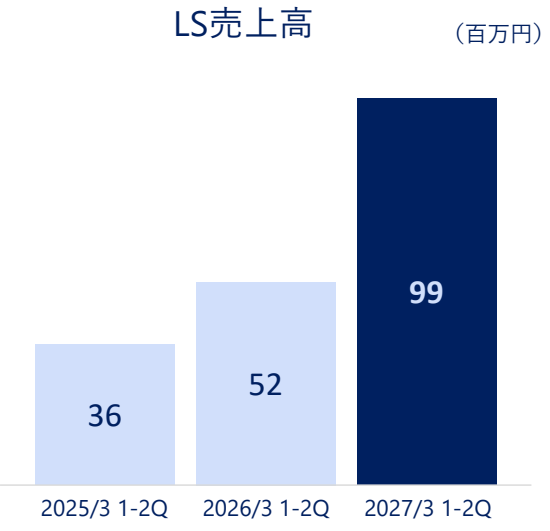
Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

レーザ・オプティカルソリューション(LS)：売上高その他

2027年3月期第2四半期 売上高
99百万円｜前年同期比 ＋89%

TDKと事業協力契約を締結し、XRグラス市場の成長・拡大へ対応を加速。

スマートグラス (XRグラス)	TDKとの共同開発は順調に活動が進んでおり、新型の網膜投影型グラス（デモ機）の開発を継続推進 網膜投影技術の受託開発を継続受注
光学モジュール・ユニット	3Dスキャンユニット（立体計測用光源）など新しいコンセプトの製品の顧客提案や展示会出展を推進 一部製品について顧客からの継続受注開始
ビジョンサポート	網膜投影技術を使ったスマートフォン装着型新規機器RETISSA ® VIEWCLEARの出荷開始、直販での販売を継続取組み中



Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

QDレーザ：2027年3月期 事業計画

安定した経営基盤の構築と飛躍の追求を両立

レーザデバイス事業の継続成長、B2B型事業を核とするレーザ・オプティカルソリューション事業の収益安定化

	売上高	営業利益	当期利益	EBITDA
全社	**18.5億円**	**＋3百万円**	**＋4.4億円**	**＋1.1億円**
前期比	+4.7億円（+35%）	+3.3億円	+7.9億円	+3.4億円

レーザデバイス事業部

14.1億円　　**+2.9億円**

- 売上と利益の安定成長の継続、生産設備立ち上げによる増産体制の構築
- 量子ドットの量産受注に向けた活動の加速(設備移転に伴い一部製品に短期の製造停止期間あり)、R&Dの推進

レーザ・オプティカルソリューション事業部

4.3億円　　**+3百万円**

- B2B型事業（光学・部品ビジネス）への構造転換・拡大によって事業部を営業黒字化
- XRグラス向け光学ユニットの共同開発の推進

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

02

QDレーザの事業

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

QDレーザの２つの事業

光半導体分野のメジャープレイヤーを目指す

レーザデバイス(LD)事業部

- 加工
（精密加工分野など）
- センサ
（半導体製造分野など）
- バイオメディカル
- 量子ドット

・加工・センサ・通信用 最先端半導体レーザ
・シリコンフォトニクス用 量子ドットエピウエハ

レーザ・オプティカル ソリューション(LS)事業部

- スマートグラス (XRグラス)
- 光学モジュール・ユニット
- ビジョンサポート

・網膜投影機器、医療機器
・産業用途向け光学モジュール・ユニット
・スマートグラス(XRグラス)の共同開発

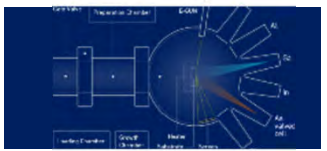
Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

QDレーザの強み：コアテクノロジー（当社の競争優位性・参入障壁）

材料・設計・制御・実装を組み合わせ、半導体レーザの応用

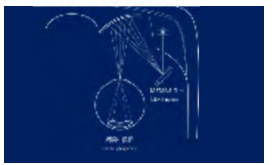
結晶成長・量子ドット

半導体結晶を原子層レベルで精密制御し
高温環境でも安定動作するレーザを実現



VISIRIUM®テクノロジ

網膜投影技術と光学設計を活かし、スマートグラス・
ビジョンサポート分野へ事業展開



QD LASER

レーザ・光学設計

波長制御・小型化・光学系設計を組み合わせ、用途別のレーザ・光学モジュールを開発

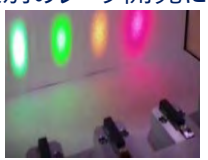
小型モジュール

レーザと周辺部品を小型ユニット化し
装置・機器への組込みに対応



波長制御（回折格子）

任意波長の精密制御により
用途別のレーザ開発に対応



光学モジュール・ユニット

レーザと光学系を組み合わせた光学
モジュール・ユニットを産業機器分野へ展開





Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

QDレーザの強み：継続売上を生むB2Bビジネスモデル（当社の競争優位性・参入障壁）

顧客ニーズに応じた製品を提供し、継続した量産供給の関係を構築

顧客への提案
<Design>
顧客用途・ニーズに応じたセミカスタム製品を提案
高付加価値化

顧客評価・採用検討
<Design-win>
顧客評価を通じて、顧客製品への量産採用を目指す
他社との差別化

顧客の量産認定

量産・安定供給
<Mass Production>
顧客製品の量産に伴い、継続的な供給を実現
継続売上基盤

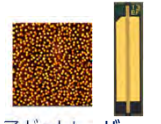
主力製品群

レーザデバイス事業


DFBレーザ


小型可視レーザ


高出力レーザ


量子ドットレーザ
(顧客評価・量産採用検討)

レーザ・オプティカルソリューション事業


スマートグラス用光学エンジン
(顧客評価・量産採用検討)



光学モジュール・ユニット


網膜投影・光学技術の医療応用

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

QDレーザの強み：セミファブレス生産体制（当社の競争優位性・参入障壁）

重要工程を自社で担い、外部委託生産により少量多品種を製品化

重要工程を自社で担う
＜Core Process＞

結晶成長などの重要工程と品質確認を自社で担う

技術・品質担保

外部委託先を活用する
＜Outsourcing＞

加工・実装等は外部委託先を活用し、用途別の製品化に対応

設備負担抑制

波長・製品群を展開する
＜Application Expansion＞

可視～近赤外の各波長帯で製品群を展開し、産業・バイオ・情報処理分野に対応

多品種展開

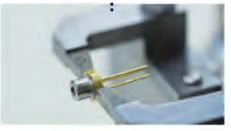
波長・製品群別の用途対応例





小型可視レーザ

バイオメディカル
フローサイトメータ
顕微鏡



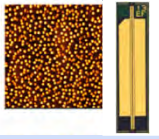
高出力レーザ

パーティクルカウンタ
マシンビジョン
工場用LiDAR



DFBレーザ

レーザ加工
ウエハ検査
脳検査



量子ドットレーザ

シリコンフォトニクス
データセンター
光配線

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

03

ESGの取組

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

Sustainability

人類の「できる」を拡張する

レーザデバイス(LD)事業部

製造・検査の高度化

レーザ加工・検査

情報処理基盤の高度化

シリコンフォトニクス

レーザ・オプティカル ソリューション(LS)事業部

生活の質の向上

ビジョンサポート

産業・医療の高度化

センシング・診断

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

04

会社概要

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

会社概要

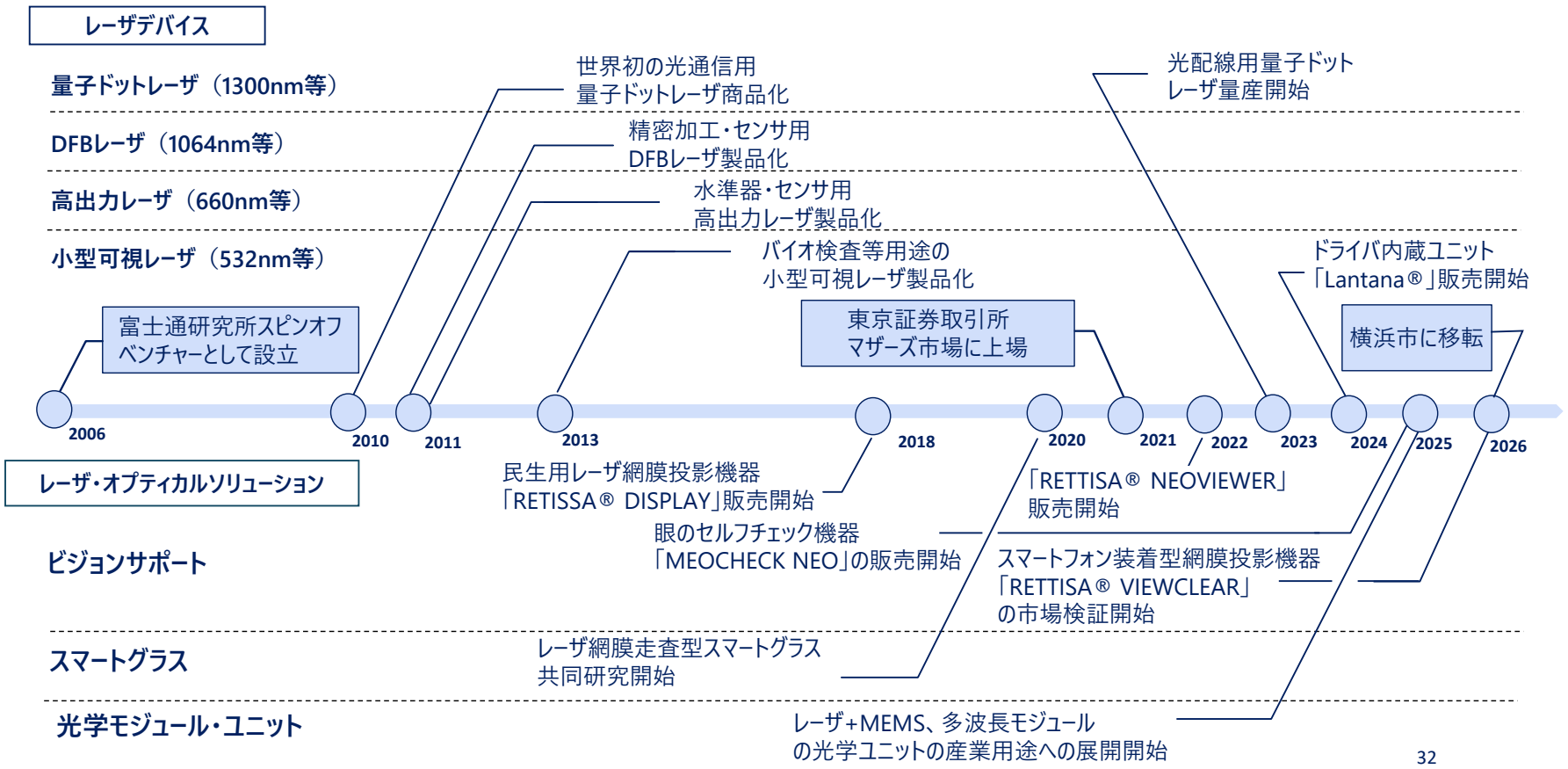
富士通研究所からのスピンオフ企業として設立
東証グロース市場上場企業（証券コード: 6613）

会社名	**株式会社QDレーザ**
設立	2006年4月24日
決算期	3月
代表者	代表取締役社長　大久保　潔
従業員数	50人[*1](2026年9月末時点)
所在地	本店：神奈川県横浜市戸塚区上倉田町206番地1 YTS　：神奈川県横浜市戸塚区上倉田町481番地1　八悦ビル2F
事業内容	**・レーザデバイス事業** ・通信・加工・センサ用 最先端半導体レーザの開発・製造・販売 ・シリコンフォトニクス用 量子ドットレーザの開発・製造・販売 **・レーザ・オプティカルソリューション事業** ・レーザ網膜投影技術の応用技術開発・製造・販売 ・「レーザ＋光学系」ユニットを活用した機器・部品の開発・製造・販売
業許可等	・第二種医療機器製造販売業 ・ISO9001

*1：派遣社員5名を含まない

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

事業・製品展開のあゆみ



Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

05

用語集

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

用語集

半導体レーザ	半導体に電流を流してレーザ発振させる長さ1mm程度の小型素子のこと。固体レーザ、ガスレーザと比較して、超小型、数10GHzに達する高速変調特性、数10%の高い電力光変換効率、波長の制御性等の優れた性質を有している。1980年代に光通信用、CD/DVDなどの光記録用の光源として普及した。
量子ドットレーザ	量子ドットレーザ(Quantum Dot Laser)は、活性層に半導体のナノサイズの微結晶である量子ドット構造を採用した半導体レーザのこと。既存の半導体レーザと比較して温度安定性、高温耐性、低雑音性に優れるという特徴がある。
DFBレーザ	分布帰還型（Distributed Feedback：DFB）レーザのことで、半導体レーザ内部に回折格子を設けて単一波長でレーザ発振することを可能としたレーザ。ファイバレーザの種光のように狭い波長域に光出力を集中させる必要がある用途に適する。
シリコンフォトニクス	信号演算とメモリ機能を有するシリコン電子回路に光回路を混載する技術。電子回路システム処理能力の従来の限界を打破し（100倍の処理速度と低電力化を実現）、LSIチップ間の大容量伝送（10Tb/s）を可能とする。CPO (Co-Packaged Optics) が代表例。
VISIRIUM テクノロジー	光の三原色である赤・緑・青のレーザを使って自在に色を作り出し、精密な光学系によって網膜に直接画像を投影する技術。
回折格子	半導体レーザの波長を自由かつ精密に制御するためレーザ内部に形成する周期的な凹凸。
超短パルス	１つのパルスの幅（時間幅）が非常に短いレーザのこと。熱影響による形状不整を防止することができ、微細加工等に用いられる。
小型可視レーザ	当社独自の半導体レーザと波長変換素子を組合せて可視光（緑・黄緑・橙色）を発生させる小型モジュール。
網膜投影	網膜上に映像を投影すること。
フローサイトメータ	細胞の分析装置のこと。細胞の浮遊液や懸濁液を細管に通してレーザ光を照射し、蛍光や散乱光の測定によって細胞数とサイズの計測を短時間で多量に行う。分子生物学、病理学、免疫学、植物生物学、海洋生物学など各種分野にて応用されている。
LiDAR	LiDAR（Light Detection and Ranging）は、対象物にレーザ光を照射し、その反射光を光センサでとらえて距離を測定する技術。今後、自動車の自動運転分野への活用が期待されている。
メタオプト	微細構造を用いて光を制御する次世代光学技術のこと。XRグラスなどの小型・軽量な光学系への応用が期待されている。
MEMS	MEMS（Micro Electro Mechanical Systems）は、半導体加工技術を用いて作られる微小な機械構造のこと。網膜投影では、レーザ光を走査する小型ミラー等に用いられる。

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.

本資料の取り扱いに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます
- これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません

Copyright © 2026 QD Laser, Inc., All Rights Reserved.